

鑑定書

こちらの鑑定書は、サービスの雰囲気や内容をご紹介しますために作成した[サンプル\(見本\)](#)です。

掲載されているご相談内容や人物設定は、すべて架空のものであり、実際のご依頼や個人情報とは一切関係ありません。

実際の鑑定では、お預かりしたご相談やお話は、外部に公開することは一切なく、大切に守らせていただきますのでどうかご安心ください。

また、本文の文章や構成などには著作権がございます(小鳥遊陽柊に帰属します)。

どうか無断での転載やコピー、模倣はお控えいただけますようお願いいたします。

小鳥遊 陽柊

川嶋様へ

川嶋さん、はじめまして。この度は、数ある鑑定の中からご依頼いただき、心より感謝申し上げます。

仕事も生活も安定しているにもかかわらず感じる「心が疲れているような感覚」や「モヤモヤとした気持ち」、そして「昔の情熱をもう一度取り戻したい」という切実な想い、ひしひしと伝わってまいりました。

大きな変化ではなく、「明日からの日々を少しでも変えるためのヒント」を求めていらっしゃるとのこと。そのお気持ちに、タロットカードが今、川嶋さんに伝えたいメッセージを丁寧に読み解きました。

それでは、さっそくタロットカードが語りかけるメッセージを一つずつ紐解いていきましょう。

小鳥遊 陽柊

ご相談内容（頂いた内容をそのまま転載しております。）

42 歳です。仕事も生活も安定していますが、毎日が同じことの繰り返しで、なんだか心が疲れているように感じます。

昔はもっと情熱があったはずなのに、今は何を見ても心が動かず、やる気も出ません。

転職など大きな決断は考えていませんが、このモヤモヤをどうにかしたいです。

タロットから、今の私に必要なメッセージや、明日からの生活で意識すると良いヒントをいただけますでしょうか。

◆Breakthrough Messages Tarot◆	1
川嶋さんのカード展開	1
問題の核心とブロック内容の特定	2
現状・核心（モヤモヤの中心にある感覚） 節制（正）	2
阻害要因／外すべきブロック ワンドの4（逆）	3
川嶋さんの本当の望み	5
顕在目標（頭でわかっている「こうなりたい目標」） 皇帝（逆）	5
潜在欲求（心の奥の情熱の種） 審判（正）	6
明日への一歩のために	8
近未来のサイン（すぐに気づく兆し） カップの3（正）	8
具体的アクション カップの7（逆）	10
期待される結果	13
行動後の手ごたえ（一歩が連鎖した先の感触） ワンドの10（逆）	13
総括	15

◆Breakthrough Messages Tarot◆

川嶋さんのカード展開



問題の核心とブロック内容の特定

現状・核心（モヤモヤの中心にある感覚） 節制（正）



現状の核心に「節制」のカードが出ています。これは、今の川嶋さんが安定と調和の中にいることを示しています。

仕事も生活も、過不足なく穏やかに回っている状態です。ご相談内容にも安定していますと記載されていましたが、まさにそんな状況なのだと思います。

しかし、このカードが核心に出たということは、その「安定」こそが、同時に「停滞」や「退屈」として感じられていることを表しているのだと思います。それは安定や均衡を保つ力を示す一方で、刺激の少ない日常や、感情の波が抑制された状態を象徴します。

川嶋さんは心の奥で、穏やかな安定よりも「心が揺さぶられるような体験」や「再び情熱を燃やせる何か」を求めているのかもしれません。

阻害要因／外すべきブロック ワンドの4(逆)



川嶋さんの心を縛り、モヤモヤを引き起こしている阻害要因として「ワンドの4」の逆位置が出ています。

これは、「安定」や「安心」といった概念に、川嶋さんが囚われすぎている、あるいは本当の意味での安らぎや達成感が得られていない状態を示します。

社会的な安定や、周囲から見て「順調」とされる状況に居心地の良さを感じつつも、内心ではその枠組みから抜け出すことを恐れているのかもしれません。

本来、ワンドの4は「基盤の完成」や「喜びの共有」を意味しますが、逆位置ではその基盤が「退屈な檻」となり、新たな冒険や刺激を求める気持ちに蓋をしてしまっている状態です。この「安泰な場所」から一歩踏み出すことに、無意識の抵抗があるようです。

川嶋さんは「生活の型」に安住しすぎて、本心の声に耳を

傾ける余裕が失われているのかもしれませんが。今の枠組みが心地よくもあり、同時に閉塞感の原因にもなっているようです。

つまり問題の核心とブロック内容とは

川嶋さんの心のモヤモヤは、実は「悪い状態」にあるわけではなく、安定と調和が極まった状態で生じた「心の飽和状態」に起因していそうです。節制のカードが示すように、全てが整っているからこそ、そこに新しいエネルギーが流れ込む余地がなくなっているのかもしれませんが。

そして、その原因となっているのが、ワンドの4の逆位置が示す、「安定した現状」から離れることへの無意識の恐れです。まず必要なのは、崩さずに保ってきたリズムへほんの一滴でもいいので異質な色を垂らすことじゃないかなって思います。

川嶋さんは、自ら築いた「安泰な基盤」という名の檻の中で、心の情熱をくすぶらせている状態にあります。このモヤモヤを解消するためには、この「安定」というブロックを一度外し、自分の感性がしっかり息づく空間を再構築することが、この停滞感を抜ける鍵になるかと思われます。

川嶋さんの本当の望み

顕在目標（頭でわかっている「こうなりたい目標」） 皇帝（逆）

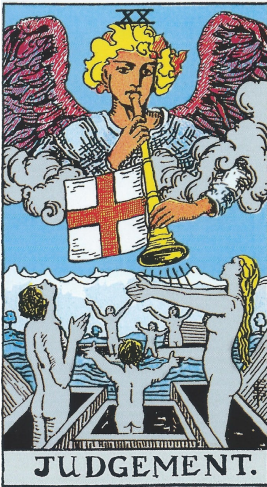


この「皇帝（逆）」のカードは「強固な枠を揺さぶりたい」という意識的欲求を往々にして意味します。

責任感と規則で築いた『城』は安定をもたらしましたが、同時に自由な発想を縛る檻になりつつあります。そのため「誰かに従うのではなく、自分の人生の主導権を握りたい」「既存のルールや権威から自由になりたい」「他者の評価や期待に縛られずに生きたい」という願望として現れているようです。

これは、組織の中での地位や役割を超えて、一人の人間として「自分自身の国を築きたい」という、自立への切実な願いを表していると感じられます。

潜在欲求（心の奥の情熱の種） 審判（正）



心の奥底に眠っている情熱の種として「審判」のカードが出現しました。これは、「人生の再始動」「魂の呼び覚まし」という、非常に力強いメッセージです。また、ある種、運命的な出来事を示すカードでもあります。

川嶋さんは心のどこかで、この現状のモヤモヤは、人生の次なるステージへ進むための「目覚めの時」だと感じているのかもしれませんが。もしくは、深層では「眠っていた情熱を呼び覚まし、新しい使命に応答したい」と強く願っているののかもしれません。

かつて持っていた情熱や夢が、今、再び川嶋さんと呼んでいます。それは、過去の自分を懐かしむだけでなく、「もう一度、本気で生きる喜びを感じたい」という魂の叫びです。

具体的に言えば、過去の経験や才能を再評価し、形を変えて世に役立てること、たとえば昔好きだった学びや趣味を社会貢献に結びつける、そんな再生のビジョンが無意識に脈

打っています。

つまり川嶋さんの本当の望みとは

川嶋さんの「やる気が出ない」という感覚は、実は「本当の自分」が目覚めようとしているサインじゃないかな、と思います。

頭では、社会的なルールから解放され、もっと自由に生きたいと願っています（皇帝・逆）。しかし、心の奥底では、それ以上に「人生を再始動させたい」という魂の深い願いが燃え上がっています（審判・正）。

これは、単なる現状打破ではなく、過去の経験を活かしつつ、新しい人生の目的を見つけ、情熱を取り戻したいという、川嶋さんの魂からの切実な呼びかけです。

この深い欲求に気づくことが、モヤモヤを晴らす第一歩となると考えられます。

明日への一歩のために

近未来のサイン(すぐに気づく兆し) カップの3(正)



近いうちに川嶋さんの周りで「カップの3」のカードが示すような出来事が起こるかもしれません。これは、喜びや祝い事、そして人との繋がりがもたらす幸福のサインです。

友人や同僚との何気ない集まりや、久しぶりの再会など、気負いのない交流の機会が訪れる可能性がとても高いでしょう。もしかしたら、それは川嶋さんが「もう心が動かない」と感じていた日常の中にある、些細な出来事かもしれません。

このカードは、「心が動かない」と感じていた川嶋さんの感性が、少しずつ動き始める兆しを示しています。誰かとの会話の中でふと心が温かくなったり、他者の喜びを心から分かち合えたりする瞬間が訪れるでしょう。

それは、大きな感動ではなく、まるで凍っていた心がゆっくりと溶けていくような、穏やかで優しい感覚かもしれません。こ

サンプル鑑定書

のサインに気づくためには、無理に何か特別なことを探すのではなく、日常の小さな交流の中に意識を向けてみてください。

友人とのおしゃべり、仕事仲間とのランチ、趣味の集まりなど、人との関わりの中で生まれる「楽しい」「嬉しい」という感情を大切にすることで、心が動き始めていることに気づけます。

心の中で「こうあるべき」「まだ足りない」と思っていると、幸運の兆しに気づかずに見逃してしまいます。また、川嶋さんは普段、節制のカードが象徴するように自己管理が行き届きすぎていて、予定外のゆるい喜びを後回しにしがちなのかもしれません。

このサインに気づいたら、「翌日朝が早いから」「仕事が溜まっているから」と理屈で断らず、試しに 30 分だけ顔を出す軽さで乗ってみてはどうでしょうか。

川嶋さんの目の前には、すでに再生のきっかけが差し出されているかもしれません。それを受け取り、心の柔らかさを取り戻していくことが、明日への一歩につながっていきます。

具体的アクション カップの7(逆)



この変化を後押しするために、川嶋さんが明日から意識すべき具体的な行動として「カップの7」の逆位置が出ています。これは、「曖昧な幻想から抜け出し、現実的な一歩を踏み出すこと」を強く促すメッセージです。

今の川嶋さんは、心の中に多くの選択肢やぼんやりとした夢を抱えているかもしれません。「もし違う仕事をしていたら?」「趣味を本格的に始めたら?」といった、現実離れした想像の雲の中に、心のエネルギーを浪費している可能性があります。しかし、このカードは、そうした「あれこれ考えるだけ」の状態から卒業する時が来たことを告げています。

具体的な行動は、決して大きな決断である必要はありません。例えば、ずっと気になっていた本を1冊読む、行ったことのないカフェに一人で入ってみる、新しい習い事を体験してみる、といった「実現可能な小さな一歩」で十分です。

そして結果を期待せずそんな自分自身を観察みましょう。そ

サンプル鑑定書

うしていくと七つのカップの幻想を一つの具体に絞ることで、思考が静まり身体感覚が目覚め、心のエネルギーが再充填されます。その小さな行動が、川嶋さんの停滞した日常に新しい風を吹き込み、霧のかかった思考を晴らす鍵となります。

幻想を捨てて現実を見据え、具体的な行動を起こすことで、心のモヤモヤは少しずつ晴れていくでしょう。

明日からの生活で意識すると良い一步は

川嶋さんが明日からの生活で意識すべきことは、「小さな喜びの兆しに気づき、小さな一步を踏み出すこと」です。近いうちに、川嶋さんは人との交流を通じて、心が再び動き始めるサイン(カップの3・正)に気づくでしょう。

それは、友人とのたわいのない会話や、誰かとの嬉しい出来事を分かち合う瞬間に現れます。この小さな喜びを見過ごさず、大切に感じてみてください。たとえ孤独を感じる日々の中にも、共感や笑顔の瞬間は存在します。それにきちんと気づき、味わうことが第一歩です。

サンプル鑑定書

そして、この心の動きを加速させるために必要な行動は、「曖昧な幻想を捨て、現実的な一歩を踏み出すこと」(カップの7・逆)です。今の川嶋さんは、多くの選択肢を頭の中で巡らせていますが、それが行動を妨げる原因となっています。「理想」や「未来への不安」に縛られることなく、ひとつの選択に集中する誠実さが求められているといえます。

完璧な答えを探すのではなく、「今、できること」に焦点を当てましょう。気になっていた場所に足を運ぶ、新しいスキルを学ぶための情報収集を始めるなど、どんなに小さなことでも構いません。心を丁寧に扱いながら、目の前の生活を味わっていく。その一つひとつの行動が、停滞していた川嶋さんの日常に新しいエネルギーを呼び込み、未来を切り開くための確かな足跡となると思います。

期待される結果

行動後の手ごたえ(一步が連鎖した先の感触) ワンドの10(逆)



具体的な一步を踏み出した後、短期的に川嶋さんが感じる手ごたえは「ワンドの10」の逆位置が示しています。これは、「重荷からの解放」と「プレッシャーの軽減」を意味する非常にポジティブなカードです。

川嶋さんは今、「安定している」という状況の中にいる一方で、無意識に多くの重荷を背負い、その重さに心が疲弊していたのかもしれません。それは、仕事の責任、家庭での役割、あるいは「こうでなければならぬ」という社会的な期待など、目には見えないプレッシャーです。

しかし、先ほど具体的アクションのポジションに出現した「カップの7の逆位置」で示したように、川嶋さんが「考えているだけ」の状態から「行動する」へとシフトすることで、これらの重荷が一つ、また一つと取り除かれていくのを実感できると思います。それは、まるで肩からずっしりとした荷物が下ろされたような、心身ともに軽くなる感覚です。

この手ごたえは、大きな成功や劇的な変化として現れるわけではありません。むしろ、「なんだか最近、気持ちが楽になったな」「前ほど、重苦しい気持ちがなくなったな」といった、内面的な変化として感じられることでしょう。

大切なのは、自分が抱えていた荷物の重さに気づくこと。そして、それを下ろしても、川嶋さんの価値は少しも損なわれないということです。

この軽やかさが、再び川嶋さんが情熱や喜びを感じるための土壌となり、次のステップへと自然に繋がっていきます。重荷から解放された川嶋さんは、これからより自由に、そして軽やかに、新しい人生を創造していくことができることでしょう。

総括

川嶋さん、この度の鑑定で浮かび上がってきたのは、川嶋さんの心が決して「悪い状態」にあるのではなく、むしろ「新しいステージへの移行準備」に入っているということです。

川嶋さんの心の奥底にあるモヤモヤは、「節制（正位置）」が示す極まった安定感が、逆に「心の飽和状態」を生み出していることに起因しています。そして、「ワンドの4（逆位置）」が示すように、川嶋さんが自ら築き上げた「安定した基盤」という名の枠組みが、心の情熱が息づくことを阻むブロックとなっているようです。

しかし、カードは、この状態は「終わり」ではなく、「始まり」のサインだと告げています。

川嶋さんの顕在意識は、「皇帝（逆位置）」が示すように、既存のルールや役割から解放され、人生の主導権を自ら握ることを切望しています。そして、心の奥底では、「審判（正位置）」が示す「魂の呼び覚まし」という、力強い再生の願いが脈打っています。

サンプル鑑定書

このモヤモヤは、川嶋さんの魂が「もう一度、本気で生きてほしい」と川嶋さん自身に語りかける、切実なメッセージなのです。

明日からの生活で、まず意識していただきたいのは、「日常の中に隠された小さな喜びのサインを見つけ、それを受け取ること」です。近いうちに、「カップの3（正位置）」が示すような、人との交流の中で心が温かくなる瞬間が訪れるでしょう。心が動く瞬間に意識を向け、無理に断らずにその流れに乗ってみてください。

そして、その心の動きを確かな行動へと繋げるために、「カップの7（逆位置）」が川嶋さんに促しているのは、「頭の中の幻想を捨て、現実的な小さな一歩を踏み出すこと」です。完璧な答えや大きな変化を求めるのではなく、気になっていたカフェに行ってみる、新しい習い事を体験してみるなど、「今、できること」に焦点を当てましょう。

その小さな一歩の連鎖は、やがて「ワンドの10（逆位置）」が示すように、川嶋さんが無意識に背負っていた重荷を少しずつ下ろし、心身を軽やかにしてくれるでしょう。それは、劇的な成功ではなく、「なんだか最近、気持ちが楽になった

サンプル鑑定書

な」という内面からの確かな手ごたえです。

最後に

川嶋さん、あなたの心のモヤモヤは、人生をより豊かにするための貴重なサインです。

今日から、目の前の生活を「味わう」こと、そして「小さな一歩」を積み重ねていくことで、閉塞感は少しずつ晴れていき、再び情熱が灯る道を歩み始めることができるでしょう。

鑑定は、以上となります。

サンプル鑑定書

この鑑定が、川嶋さんの「一歩踏み出す勇気」に繋がることを心より願っております。



たかなし はるひ
小鳥遊 陽柊

【公式HP】小鳥遊陽柊占い鑑定 Room

<https://takanashi-palmread.com/>

各種鑑定・講座メニュー

<https://takanashi-palmread.com/menu>

